

# 平成29年度 杉並区施策評価表 I

( 00004 )

施策	04	利便性の高い快適な都市基盤の整備
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	都市計画課	関係課 交通対策課 土木管理課 土木計画課 杉並土木事務所

施策目標 道路と鉄道の立体交差化により、踏切による交通渋滞や事故、鉄道による地域分断が解消されるなど、地域の安全性や利便性が向上するとともに、地域コミュニティの活性化が進んでいます。また、狭い道路の拡幅や電柱のセッティングが済み、防火性の向上と円滑な通行の確保が進んでいます。また、狭い道路の拡幅や電柱のセッティングが済み、防火性の向上と円滑な通行の確保が進んでいます。また、狭い道路の拡幅や電柱のセッティングが済み、防火性の向上と円滑な通行の確保が進んでいます。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	バリアフリー推進連絡会等の開催回数	指標名(1)	区内での定住意向
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(2)	沿線まちづくり活動団体支援数(26年度まで)	指標名(2)	都市計画道路(区道)完成延長
算式・指標説明	沿線まちづくり活動団体助成数 まちづくり協議会への参加・協力等の回数(26年度まで) まちづくり活動の助成を受けている団体数	算式・指標説明	区内都市計画道路のうち整備完了した区道延長
指標名(3)	道路拡幅整備距離	指標名(3)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名(4)	南北バス「すぎ丸」運行本数	指標名(4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成26年度 実績	平成27年度		平成28年度		目標値	目標年度
			計画	実績	計画 (目標値)	実績		
活動指標	活動指標(1)	1 回	2	2	2	2	2	
	活動指標(2)	2 件	3	43	40	33	34	
	活動指標(3)	3 m	6,887	9,000	8,553	9,000	8,361	
	活動指標(4)	4 本	79,346	79,530	79,529	79,336	79,330	
成果指標	成果指標(1)	5 %	85.1	88.0	84.9	88.0	85.6	90 平成33年度
	成果指標(2)	6 m	7,022	7,022	7,022	7,022	7,022	8,052 平成33年度
	成果指標(3)	7						
	成果指標(4)	8						
	成果指標(5)	9						
	成果指標(6)	10						
施策コスト	事業費	11 千円	3,364,344	4,066,611	3,776,891	4,329,651	4,175,286	特記事項 平成28年度に和泉保健センター地盤調査実施や、方南町周辺のバリアフリー化に伴う小学校の施設整備を実施したため事業費が増加しました。
	(内) 投資的経費等	12 千円	2,083,583	2,129,563	1,923,024	2,356,952	2,272,760	
	(内) 委託費	13 千円	2,673,988	3,264,337	3,020,969	3,474,899	3,368,459	
	常勤職員数	14 人	76.18	69.72	80.30	76.43	83.22	
	再任用職員数	15 人	7.11	6.60	6.02	4.50	4.82	
	非常勤職員数	16 人	5.99	4.99	4.99	6.50	6.60	
	人件費 (14+15+16)	17 千円	716,893	655,086	741,947	706,240	753,299	
	総事業費 (11+17)	18 千円	4,081,237	4,721,697	4,518,838	5,035,891	4,928,585	
	国・都からの補助金等	19 千円	326,416	578,699	502,473	529,664	534,728	
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	20 %			10.7	6.7	9.1	
人件費比率 (17÷18)	21 %	17.6	13.9	16.4	14.0	15.3		

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>鉄道連続立体交差事業により、踏切による交通渋滞などが解決できることから、早期の事業実施が望まれています。実施にあたっては、「沿線各駅周辺地区まちづくり方針」に基づき、地域の一体的なまちづくりと併せて進めていく必要があります。</p> <p>狭あい道路拡幅整備事業については、区民の理解は進んでいるものの、後退部分への花壇等の設置により、消防車や救急車など緊急車両の通行の支障が想定され、首都直下地震への備えの観点からも、通行の支障となる物件への対応が求められています。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、さらなる「心のバリアフリー」の普及啓発と合わせ、鉄道駅や道路などのユニバーサルデザイン化の推進が求められています。</p>
---	---

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>鉄道連続立体交差事業については、東京都や沿線区市、鉄道事業者と連携を図り事業の早期実現を目指しています。京王線では、事業認可取得後に「事業及び工事説明会」を実施し、工事着工に向けて大きく前進しました。西武新宿線では、沿線各駅まちづくり協議会の活動等が評価され、東京都において事業化に向けた検討が始まりました。</p> <p>狭あい道路拡幅整備事業では、着実に整備を進めており、これまでに区内狭あい道路の31.1%の拡幅整備が完了しました。また、首都直下地震等に備え、狭あい道路を拡幅して区民の安全と財産を守るため「杉並区狭あい道路の拡幅に関する条例」を改正施行し、条例により指定した重点整備路線(4路線)と重点地区等に対して訪問等による拡幅整備及び支障物件設置の禁止規定を説明するなど普及啓発に努めました。</p> <p>ユニバーサルデザインのまちづくり推進については、「杉並区バリアフリー基本構想」に基づき、取組を着実に進めています。方南町駅周辺の重点整備地区では、駅のバリアフリー化整備を平成29年度の完成に向け進めるとともに、区立施設では、和泉保健センターにエレベーターを増設するための地盤調査や、大宮小学校へのスロープ・手摺の設置工事などを行いました。</p>
--	---

<p>改善・見直し の方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 拡充</p> <p>今後の進め方</p> <p>誰もが安全・安心に移動できるまちづくりを着実に推進していくため、踏切による交通渋滞や鉄道による地域分断の解消に向けて、東京都、沿線区市、鉄道事業者と連携して鉄道連続立体交差事業の早期実現に取り組むとともに、道路・公共施設のバリアフリー化により、利便性の高い快適な都市基盤の整備を進めていきます。</p> <p>狭あい道路拡幅整備事業では、改正条例により定めた重点整備路線・支障物件に関する取組等の実績を公表するとともに、改正条例施行後3年を目途とし、狭あい道路の拡幅に関する協議会において、施策の実施状況を助産し、課題整理や検討を進めていきます。</p> <p>区民の安全・安心を確保し、快適な都市基盤を形成するため、「すぎなみの道づくり(道路整備方針)」に基づき、都市計画道路や主要生活道路の優先整備路線の整備を進めることで、体系的な道路網の整備を行うとともに、歩行者が安全に通行できるよう生活道路の安全対策を進めていきます。あわせて、自転車駐車場が不足する地域では、民間事業者による自転車駐車場整備を促進し、放置自転車のない良好な生活環境を整えていきます。</p>
-------------------------------	---

# 平成29年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 04】【施策名称 利便性の高い快適な都市基盤の整備】

金額の単位は千円

( 00004 )

整理番号	事務事業名称	位置付		平成28年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要事業				
1 369	和泉保健センターの改築			1,836	4,079	5,915	現状維持
2 375	新たな地域交通の整備			300	2,569	2,869	現状維持
3 376	ユニバーサルデザインのまちづくり推進			100	5,993	6,093	現状維持
4 377	鉄道連続立体交差の推進			31,021	35,618	66,639	推進(拡充)
5 406	登録制自転車置場等の運営			11,414	6,507	17,921	現状維持
6 407	有料制自転車駐車場の運営			713,419	44,182	757,601	推進(拡充)
7 408	放置自転車対策の推進			204,589	56,445	261,034	現状維持
8 409	自転車等駐車対策協議会の運営			539	1,798	2,337	現状維持
9 410	自転車駐車場等整備			50,677	24,915	75,592	推進(拡充)
10 413	土木事務所維持管理			9,086	10,018	19,104	現状維持
11 417	道路台帳の整備			140,223	78,578	218,801	推進(拡充)
12 419	私道整備助成			199,974	59,138	259,112	現状維持
13 420	道路維持補修			720,658	88,591	809,249	推進(拡充)
14 422	道路の路面改良			830,411	48,290	878,701	現状維持
15 423	魅力ある歩行者優先の道づくり			79,384	17,124	96,508	現状維持
16 424	都市計画道路の整備			140,614	32,364	172,978	推進(拡充)
17 425	狭あい道路拡幅整備			949,860	188,214	1,138,074	推進(拡充)
18 442	南北バスの運行			78,923	14,457	93,380	現状維持
19 516	小学校の施設整備			12,258	34,419	46,677	現状維持
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				4,175,286	753,299	4,928,585	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

# 平成29年度 杉並区施策評価表 I

( 00005 )

施策	05	良好な住環境の整備
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	住宅課	関係課 都市計画課 まちづくり推進課 建築課

施策目標  
 地域特性に応じた良好な住環境の保全・形成が進み、質の高い住宅都市、「住み続けたいまち、住んでみたいまち」杉並として幅広く認識されています。また、歴史・文化、自然などの価値ある場所がネットワーク化され、まちの魅力・価値が高まっています。  
 区民が良質な住宅と良好な住環境の中で、ゆとりある住生活が送れるようになっていきます。まちづくりに関する諸制度の的確な運用により、良好な市街地形成が進んでいます。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	長寿命化修繕工事の工事が所数	指標名(1)	住環境に満足する区民の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(2)	区営住宅管理戸数	指標名(2)	最低居住面積水準未達の住宅に住む世帯の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	住宅・土地統計調査による(5年に1度。平成26~28年度実績値は25年度調査)
指標名(3)	高齢者住宅管理戸数	指標名(3)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名(4)	民間アパートあっせん申請件数	指標名(4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成26年度 実績	平成27年度		平成28年度		目標値	目標年度	
			計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標	活動指標(1)	1 所	1	1	1	2	2		
	活動指標(2)	2 戸	944	944	944	944	944		
	活動指標(3)	3 戸	375	375	375	353	353		
	活動指標(4)	4 件	175	200	173	200	133		
成果指標	成果指標(1)	5 %	92.0	92.5	91.0	93.0	91.9	95 平成33年度	
	成果指標(2)	6 %	19.5	17	19.5	17	19.5	5 平成33年度	
	成果指標(3)	7							
	成果指標(4)	8							
	成果指標(5)	9							
	成果指標(6)	10							
施策コスト	事業費	11 千円	1,295,548	1,411,754	1,328,676	1,454,801	1,341,805	特記事項	
	(内) 投資的経費等	12 千円	107,972	113,856	113,855	107,136	107,136		
	(内) 委託費	13 千円	562,432	689,590	625,697	594,990	537,182		
	職員数	常勤職員数	14 人	30.78	26.80	29.70	27.80		28.96
		再任用職員数	15 人	1.00	1.00	1.00	1.00		1.00
		非常勤職員数	16 人	7.00	7.50	7.50	11.50		11.42
	人件費 (14+15+16)	17 千円	295,032	261,383	285,941	281,058	286,274		
	総事業費 (11+17)	18 千円	1,590,580	1,673,137	1,614,617	1,735,859	1,628,079		
	国・都からの補助金等	19 千円	189,892	187,062	181,990	248,752	96,597		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	20 %			1.5	3.7	0.8		
人件費比率 (17÷18)	21 %	18.5	15.6	17.7	16.2	17.6			

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>誰もが安全・安心に住みなれた地域で住み続けることができるよう、国は賃貸住宅等の民間住宅市場や既存ストック活用重視へと住宅施策を転換し、低所得者や高齢者等住宅確保要配慮者への居住の安定を図ることとしました。このため東京都は、高齢者の居住安定確保に関する法改正に基づくサービス付き高齢者向け住宅制度創設による補助制度を活用した、ケア付住宅の整備に取り組んでいます。さらに、高齢者等の住宅確保要配慮者に対する民間賃貸住宅等への入居支援を一層促進していくため、居住支援協議会が平成27年度に東京都や特別区3区、平成28年度も3区に設けられました。杉並区は平成28年1月に「杉並区総合的な住まいのあり方に関する審議会」で設置に向けた答申が出され、同年11月に杉並区居住支援協議会を設立しました。 また、まちづくりの機運が高まった地域では、地元発意による提案を踏まえ、地区計画制度を活用したまちづくりの取組の増加が予測されます。</p>
---	---

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>高齢者、障害者、子育て世帯等、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居や住宅供給を促進するため、平成28年11月に区、不動産業界団体、NPO法人等で構成する「杉並区居住支援協議会」を設立し、本部会を2回開催しました。また、空家の利活用モデル事業に関する検討を行うため、空家等利活用専門部会を1回開催しました。 一方、区有の既存ストックである区営住宅については、積極的な長寿命化工事を行い、引き続き有効活用を図るとともに、居住者の高齢化に向けた対応を進めています。 まちづくり施策では、放射5号線周辺地区で、まちづくり計画の策定や玉川上水・放射5号線周辺地区地区計画等の都市計画決定を行いました。また、まちづくり活動の支援については、区民ニーズ等を踏まえ、支援や助成のあり方などの見直しを行います。</p>
--	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 現状維持</p> <p>住宅確保要配慮者、民間賃貸住宅の賃貸人双方への情報提供の充実や入居支援の改善、空家等利活用による住まいの供給促進を図るため、引き続き杉並区居住支援協議会で取組内容を検討し、事業を推進していきます。また、空家を含む既存住宅のリノベーション推進や、子育て世帯向けの良質な住宅提供策の構築など、住宅施策の具体化を進めていきます。さらに、空家対策について、空家等を利活用した住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の入居を促進するため、空家等利活用モデル事業を実施し、検証していきます。 区営住宅については、バリアフリー対策の実施や長寿命化工事による入居戸数の確保と、高齢者・障害者・子育て世帯への入居優遇策の拡充などの施策を検討します。 まちづくり施策については、地域からのまちづくりに対する提案や住環境の変化等を踏まえて、地区計画を策定する等、地域特性を踏まえた土地利用の実現を目指すとともに、まちづくり活動助成制度の見直しを行うことで、地域住民主体のまちづくり活動の機運醸成を図り、住環境の向上とより良い市街地形成を目指します。</p>
--------------------------	--

# 平成29年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 05】【施策名称 良好な住環境の整備】

金額の単位は千円

( 00005 )

整理番号	事務事業名称	位置付		平成28年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要事業				
1 372	まちづくり施策の総合的な推進			8,735	20,891	29,626	現状維持
2 373	用途地域などの案内調整			2,983	35,585	38,568	現状維持
3 374	都市計画道路公園緑地の案内調整			40	11,816	11,856	現状維持
4 378	地区整備計画			17,808	54,257	72,065	現状維持
5 381	まちづくり活動の支援			2,116	9,620	11,736	推進(拡充)
6 386	区営住宅の住環境整備			107,136	3,425	110,561	現状維持
7 387	区営住宅の提供			227,248	25,635	252,883	現状維持
8 388	区民住宅の運営管理			57,050	10,274	67,324	縮小(廃止)
9 389	高齢者住宅の提供			544,162	34,599	578,761	現状維持
10 390	都営シルバーピアの運営			28,660	3,425	32,085	現状維持
11 391	高齢者等アパートの提供			54,832	20,606	75,438	現状維持
12 392	住宅総合相談等			516	8,562	9,078	現状維持
13 393	住宅修築資金の融資あっせん			2,111	3,425	5,536	現状維持
14 394	区営住宅整備基金の積立金			278,267	1,712	279,979	現状維持
15 395	住宅施策の推進			552	13,014	13,566	推進(拡充)
16 404	空家等対策の推進			9,589	29,428	39,017	推進(拡充)
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				1,341,805	286,274	1,628,079	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

# 平成29年度 杉並区施策評価表 I

( 00006 )

施策	06	魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	まちづくり推進課	関係課 地域課 文化・交流課 産業振興センター

施策目標 荻窪駅周辺では、商業機能や生活利便施設の集積及び利便性の高い都市空間の形成など、「都市再生まちづくり」が着実に進んでいます。駅を中心に区内各地域の特性を活かした魅力のあるまちづくりが進み、多くの人が訪れたいと活気が生まれています。また活かなみ景観の視点から考えるまちづくり活動など区民一人ひとりの主体的な取組が進み、美しいまちなみづくりを支えています。「杉並」の知名度の高まりとともに、杉並の「良さ」、「らしさ」が区外にも周知され、持続的に集客力が高まり、にぎわいの創出につながっています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	地元住民や各種団体、関係事業者等との打合せ回数	指標名(1)	住環境に満足する区民の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(2)	駅周辺まちづくりに関する懇談会・意見交換会等の開催数(～26年度)駅周辺整備に関する相談・指導回数	指標名(2)	杉並区のまちを美しいと思う人の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(3)	景観新聞の発行部数	指標名(3)	区内全駅の1日平均乗降人員
算式・指標説明		算式・指標説明	各鉄道会社の公表による(JR4駅は乗車人員、他の駅は乗降人員の平均)
指標名(4)	中央線あるあるプロジェクト新聞PR回数	指標名(4)	「すぎなみ学倶楽部」のアクセス数
算式・指標説明		算式・指標説明	ページビュー数
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		目標値	目標年度		
			実績	計画	実績	計画(目標値)			実績	
活動指標	活動指標(1)	1	回	31	13	19	15	16		
	活動指標(2)	2	回	96	3	3	4	8		
	活動指標(3)	3	部	6,000	5,000	6,000	5,000	6,000		
	活動指標(4)	4	回	22	16	18	16	17		
成果指標	成果指標(1)	5	%	92.0	92.5	91.0	93.0	91.9	95	平成33年度
	成果指標(2)	6	%	78.0	80.3	78.9	81.0	78.4	85	平成33年度
	成果指標(3)	7	人	706,238	717,300	724,064	724,000	734,505	759,000	平成33年度
	成果指標(4)	8	件	600,097	606,517	518,231	620,000	558,944	670,000	平成33年度
	成果指標(5)	9								
	成果指標(6)	10								
施策コスト	事業費	11	千円	166,037	176,124	164,124	206,207	188,135	特記事項	
	(内)投資的経費等	12	千円	0	148	147	918	810	アニメの振興と活用・杉並アニメーションミュージアムの多言語化、充実化の促進により、事業費が増加しました。あわせて、杉並アニメーションミュージアム運営委託費が増加しました。 観光促進 ・中央線あるあるプロジェクト、観光PR等において、主に多言語対応や情報発信の充実を図ったことにより事業費が増加しました。	
	(内)委託費	13	千円	97,212	102,708	98,027	125,045	115,566		
	常勤職員数	14	人	16.64	16.50	20.09	15.50	18.21		
	再任用職員数	15	人	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00		
	非常勤職員数	16	人	3.00	2.50	2.50	3.11	3.09		
	人件費(14+15+16)	17	千円	159,139	156,490	187,204	144,707	165,095		
	総事業費(11+17)	18	千円	325,176	332,614	351,328	350,914	353,230		
	国・都からの補助金等	19	千円	0	0	0	5,373	7,374		
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	20	%			8.0	5.5	0.5		
人件費比率(17÷18)	21	%	48.9	47.0	53.3	41.2	46.7			

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>駅周辺においても老朽化した建物の更新期を迎える等、まちづくりのきっかけや地域の機運を的確に捉えるために、関係部署との連携を強化するとともに、地域の動向を注視していきます。また、都市開発諸制度の活用方針が改定される等、東京都、国の動きと区の住環境との調和を図りながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>平成28年の訪日及び訪都外国人旅行者数は、それぞれ過去最高を記録しています。外国人旅行者の志向は「モノ(消費)」から「コト(体験)」に変化しており、これら旅行者の動向やニーズを的確に捉え、更なる効果的な情報発信等を図り、区に誘致し「にぎわい・商機」の創出に繋がる総合的な「まちづくり」を進めていきます。</p>
---	--

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>地域特性を活かしたにぎわいと多彩な魅力あるまちづくりを進めるため、ハード・ソフト両面の取組を連携強化し、駅周辺や景観まちづくり、観光事業の推進やアニメ、文化・芸術の振興や商店街の支援に取り組み、「住環境に満足する区民の割合」は90%を超えています。</p> <p>また、荻窪駅周辺及び阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくりでは、説明会等の開催や区民等から意見聴取を行い、まちづくり方針の策定に向けて取り組んできました。</p> <p>さらに、景観計画を改定し運用を開始したことで、大規模建築物等の事前協議の手続等を見直し、実効性の高い制度となったことや、区内で第1号となる景観重要樹木と景観重要建造物を指定するなど、景観まちづくりの着実な進展を図りました。</p> <p>外国人を含む来街者の区内への誘致に関しては、「中央線あるあるプロジェクト」(1)の推進、「荻窪駅南口でのトランスボックスラッピング」の取組や、民間事業者と連携したアニメ事業の充実等を通じて、「JR中央線4駅を中心に、商店街で外国人旅行者を見かける機会が増えた」との報告もあります。加えて、杉並アニメーションミュージアムの外国人来館者数は、過去最高を記録(5,648人)し、「すぎなみ学倶楽部」(2)のアクセス数(ページビュー数)は、平成27年度比40,713件の増となるなど、「にぎわい・商機」の創出に向けた取組を進めることができました。</p>
--	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 拡充</p> <p>今後の進め方</p> <p>交通拠点である駅周辺を核とし、それぞれの地域特性を活かしたにぎわいや魅力あるまちづくりを進めていく必要があります。そのため、荻窪駅周辺や阿佐ヶ谷駅等周辺のまちづくり方針を策定し、区民、事業者、行政がまちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を共有し、取組を具体化していきます。また、改定した景観計画に基づき、普及啓発を充実することで、区民、事業者の景観への関心を高め、自主的な景観づくりの機運醸成を図ります。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会やラグビーワールドカップ等の開催により、外国人旅行者を含む観光客の持続的な増加が見込まれます。この千載一遇の好機を逃さず活かして、更なる区への来街者増を目指して、旅行者の動向やニーズを的確に把握するとともに、「中央線あるあるプロジェクト」や「すぎなみ観光大使事業」等の情報発信事業を中心に、民間事業者とも密に連携を図りながら、にぎわい創出に向け、各事業を展開していきます。</p> <p>都市機能の集積や基盤整備などのハード面の取組と、産業振興や文化振興等のソフト面の取組の更なる連携強化を通じて、各駅周辺の地域資源を活かした、区民が住み続けたいと思うまちづくり、訪れる人にとって魅力的なまちづくりを進めます。</p>
--------------------------	---

# 平成29年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 06】【施策名称 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり】

金額の単位は千円

( 00006 )

整理番号	事務事業名称	位置付		平成28年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要事業				
1 099	アニメの振興と活用			91,883	22,150	114,033	推進(拡充)
2 100	観光促進			64,428	49,846	114,274	推進(拡充)
3 380	景観まちづくり			7,258	33,165	40,423	推進(拡充)
4 384	都市再生事業			15,910	31,080	46,990	現状維持
5 385	多心型まちづくりの推進			8,656	28,854	37,510	現状維持
6	以下再掲事業分の評価表						
7 073	文化・芸術の振興						
8 098	商店街支援						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				188,135	165,095	353,230	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

# 平成29年度 杉並区施策評価表 I

( 00007 )

施策	07	地域の特性を活かし将来を見据えた産業の振興
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	産業振興センター	関係課

施策目標	<p>区と区内産業経済団体等が一体となって様々な産業振興策を実施し、区内経済が着実に活性化してきています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就労支援や創業支援等の取組により、多くの意欲ある現役世代等の就職が叶うとともに、創業が進んでいます。</li> <li>区内農業者等による地産地消の取組が行われ、学校給食へ農産物が提供されるなど、都市型農業の持つ多面性が活かされるようになってきています。</li> </ul>
------	---

活動指標		成果指標	
指標名(1)	融資あっせん件数	指標名(1)	就労支援センターの利用により、就職が決定した人数
算式・指標説明		算式・指標説明	就労準備相談及びハローワークコーナーを利用し、就職が決定した人数
指標名(2)	装飾LED化補助金交付本数	指標名(2)	創業支援による創業者数
算式・指標説明		算式・指標説明	区が実施する特定創業支援事業を利用し、区内で創業した事業者数
指標名(3)	農家戸数	指標名(3)	商店街への満足度
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(4)	就労準備相談・心としごとの相談件数	指標名(4)	区内農業産出額
算式・指標説明		算式・指標説明	東京都農作物生産状況調査による(目標及び実績は、当該年度において直近でとれる数値)
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		目標値	目標年度		
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				
活動指標	活動指標(1)	1	件	581	1,000	692	1,000	552		
	活動指標(2)	2	本	686	300	376	300	181		
	活動指標(3)	3	戸	150	150	146	146	142		
	活動指標(4)	4	件	1,927	2,000	2,022	2,000	1,824		
成果指標	成果指標(1)	5	人	620	600以上	829	600以上	837	年600人以上	平成33年度
	成果指標(2)	6	件	0	45	52	45	67	年45件	平成33年度
	成果指標(3)	7	%	58.9	61	58.9	61	62.0	65	平成33年度
	成果指標(4)	8	(百万円)	330	340	322	345	323	370	平成33年度
	成果指標(5)	9								
	成果指標(6)	10								
施策コスト	事業費	11	千円	640,294	1,182,340	1,070,833	915,179	775,062	<b>特記事項</b> 平成28年度は、プレミアム商品券の発行支援を行わなかったこと等により、事業費が前年比で大幅に減っています。 また、利子補給金の残や、補助金支給対象者の減、委託等の落札差金等により、事業費の実績は計画比約15%の減となりました。	
	(内)投資的経費等	12	千円	0	94,601	87,347	121,431	114,459		
	(内)委託費	13	千円	200,161	301,459	285,499	326,131	307,561		
	常勤職員数	14	人	16.68	14.30	16.97	15.60	16.98		
	再任用職員数	15	人	1.21	1.00	1.08	0.00	0.00		
	非常勤職員数	16	人	7.61	8.61	9.02	9.00	8.68		
	人件費(14+15+16)	17	千円	173,388	154,399	179,380	162,871	171,171		
	総事業費(11+17)	18	千円	813,682	1,336,739	1,250,213	1,078,050	946,233		
	国・都からの補助金等	19	千円	89,003	302,977	300,079	106,476	96,326		
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	20	%			53.6	19.4	24.3		
人件費比率(17÷18)	21	%	21.3	11.6	14.3	15.1	18.1			

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>国は、現在の経済状況を、「雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いているが、個人消費や民間設備投資は力を欠いた状況」としています。区内においても、雇用環境は大きく改善しているものの、中小企業の経営環境は必ずしも好転しているとは言いえない状況が続いています。そうした中、区内産業においては、将来を見据えた持続可能な経営活動や区内産業の活性化を図る上で、事業主の高齢化や後継者不足、個人消費の改善テンポの遅れによる売上高の低迷などが、共通の課題となっています。</p> <p>また、東日本大震災以降、防災や農業体験などの場として多面的機能を持つ都市農地に着目した、都市農業を法的に位置付ける都市農業振興基本法が平成27年4月に制定され、これに基づき「都市農業振興基本計画」が平成28年5月に策定されました。</p>
---	---

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>区内の中小企業・農業経営者・商店街などに対し、産業経済団体、地域団体等と連携しながら、実情に応じた各種の支援を実施することができました。特に、異業種交流会の実施に当たっては、東京商工会議所の協力の下、多くの方にご参加いただき、創業セミナーの実施と併せ、事業者にとって新たなビジネスチャンスを広げる機会とすることができました。</p> <p>就労支援センターでは、就労阻害要因を抱えた相談者に対し、福祉等関連部門と連携し、相談者に寄り添った支援を行いました。また、就職面接会には延べ区内107事業者が参加し、雇用の促進を図ることができました。商店街においては、装飾灯のLED化による環境整備や、意欲的な商店街と地域団体が協働したチャレンジプログラムなど、商店街の実情に応じた活性化策を進めることができました。</p> <p>区内農業者に対しては、これまでの即売会に加え、杉並産野菜の区内飲食店への提供、学校給食での利用など地産地消を促進する取組を進めるとともに、認定農業者(国の制度に基づき、農業者が作成した農業経営改善計画を区が認定する農業者)制度を創設し、15人を認定するなど、都市型農業の一層の支援を図ることができました。</p>
--	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 現状維持</p> <p>今後の進め方</p> <p>中小企業の経営基盤強化、新たな事業展開や事業承継などの経営支援や創業支援のほか、雇用機会に恵まれない若者等に対する就労支援、農業経営支援を引き続き進めていきます。さらに、商店街に対しては、3年後の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を好機と捉え、観光事業とも連携した集客力の向上、外部人材の活用、地域の「良さ」「らしさ」を活かした取組に対する積極的な支援を行い、街のにぎわいの創出と商機の拡大を図っていきます。</p> <p>区内農業に対しては、区民が農とふれあう農業公園などの「場」の創出や、これと連動した農業情報発信、地産地消の一層の促進など、幅広い視点からの都市農業支援に取り組みます。</p> <p>また、現在の取組の基本となる「杉並区産業振興計画」は、平成24年度に策定し、既に5年が経過していることから、計画策定当初とは社会環境が大きく変化しています。そこで、平成29年度に6年ぶりとなる産業実態調査を実施し、これまでの取組を検証するとともに、現計画策定後に生じた新たな課題への対応も検討した上で、平成30年度に「杉並区産業振興計画」の改定を行ってまいります。</p>
--------------------------	---

# 平成29年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 07】【施策名称 地域の特性を活かし将来を見据えた産業の振興】

金額の単位は千円

( 00007 )

整理番号	事務事業名称	位置付		平成28年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要事業				
1 097	中小企業支援			100,484	35,883	136,367	現状維持
2 098	商店街支援			290,328	37,219	327,547	推進(拡充)
3 101	産業振興の基盤整備			51,099	21,335	72,434	現状維持
4 102	産業商工会館維持管理			28,909	13,734	42,643	現状維持
5 103	農業委員会の運営			6,173	8,562	14,735	現状維持
6 104	農業の支援・育成			26,277	22,180	48,457	推進(拡充)
7 105	都市農地確保			16,939	7,882	24,821	現状維持
8 106	勤労福祉会館維持管理			61,805	856	62,661	現状維持
9 108	就労支援			79,215	20,095	99,310	推進(拡充)
10 109	産業商工会館の改修			113,833	3,425	117,258	縮小(廃止)
11	以下再掲事業分の評価表						
12 099	アニメの振興と活用						
13 100	観光促進						
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				775,062	171,171	946,233	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--